

令和6年度 第2回鳥取市下水道等事業運営審議会 議事録

1 日 時 令和6年10月22日（火） 14:00～14:30

2 場 所 下水道部庁舎 3階大会議室

3 出席委員 戸苅丈仁会長、高部祐剛委員、佐藤順委員、
山本四寿子委員、外山照野委員、民野千秋委員、
牛尾柳一郎委員

4 議 案 議 事 （1）下水道等使用料の見直しについて
・答申案について

5 議 事

発言者	質疑応答
事務局	<p>ただいまより令和6年度第2回鳥取市下水道等事業運営審議会を開催させていただきます。本日はお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は事務局を担当しております下水道企画課長の牧野と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従いまして、本日の審議会を進行させていただきます。なお、本日は所用のため宮本委員・稲田委員が欠席をされております。委員定数であります9名のうち7名のご出席をいただいております。鳥取市下水道等事業運営審議会条例第6条第2項によりまして、過半数の委員が出席されているため、本会議を開催させていただきます。</p> <p>それでは開会にあたりまして坂本下水道部長がご挨拶を申し上げます。</p>
下水道部長	<p>失礼いたします。下水道部長の坂本です。本日は委員の皆様におかれましては、令和6年度第2回下水道等事業運営審議会に、お忙しい中ご参加いただきまして、深く感謝申し上げます。本日の会議ですけれども、第1回の会議の中で、市長より来年度以降の下水道等使用料につきまして、算定期間と改訂の要否についての諮問をさせていただきました。諮問をさせていただくことに合わせて、事務局から今後の財政状況等もご説明申し上げたところ、皆様から貴重なご意見をたくさんいただきました。それを踏まえまして、この度事務局の方で会長と相談しながら、答申案のたたき台を、今日ご提示させていただいております。このたたき台について、本日はご審議いただき成案に向けて中身を揉んでいただきたいと思いますと考えております。限られた時間の中ではありますが、忌憚のないご意見をいただきたいと思います</p>

下水道部長	いますのでどうぞよろしくお願いたします。
事務局	ありがとうございました。 続きまして、戸荻会長からご挨拶をいただきたいと思ひます。
会長	今日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。今ご説明があつた通り、今日は諮問に対する答申案のたたき台が上がつてきている次第でございます。たたき台ですので、ここに関しても忌憚のないご意見をいただければというふうにご考へております。今日はどうぞよろしくお願いたします。
事務局	ありがとうございました。 それでは本審議会条例第6条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めることとなっております。これからの議事進行につきましては戸荻会長よろしくお願いたします。
会長	それでは、次第に従ひまして議事を進めさせていただきます。 まず、議事録署名委員の指名です。この審議会では議事録を作成するにあたり、2名の委員に議事録署名委員になっていただいております。議事録署名委員は事務局が作成した議事録を確認したのち署名をいただくというもので、審議会の名簿順に2名ずつ指名させていただきたいと思ひます。今回は出席いただいている方から名簿順で山本委員と外山委員にお願いすることとなりますが、よろしいでしょうか。
委員	両委員了解。
会長	それでは、後日事務局が議事録を持参しますので、よろしくお願いたします。 それでは、議案の審議に入ります。本日は、前回の審議をもとに事務局で答申の案を作成いただいておりますので、この案について審議したいと思ひます。まずは事務局から答申の本文となる答申案2ページ「下水道使用料について」の説明をお願いたします。
事務局	～事務局説明～
会長	ありがとうございました。ただ今事務局より説明がありましたが、前回下水道等使用料について諮問があり、使用料の見直しについて審議をしました。使用料対象経費、算定期間、現行の使用料を据え置きとすることについて記載されています。この内容について、ご意見・ご質問等があればお願いたします。 私からいくつか質問をさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。確認ですが、令和7年から令和8年までの2年間とする選択肢も考へられたというのは、令和9年度で経費回収率が100%を割るので、令和8年で一旦区切つて、そこでもう1回審議して、多分、下水道料金の値上げが

会長	必要になる可能性が高いということも考えられるけど、できれば、物価高騰の影響で家計が圧迫されているということもあって、令和7年から9年の3年間で考えれば内部留保資金もそれなりにあるし、現行でなるべく行きたいという意味でよろしいでしょうか。
事務局	そうでございます。
会長	その他のところで、改めて審議を可能とする適切な情報提供をする事とありますが、現行の見込みを超えるような事態が起こって、急激に100%を割り込む事があった場合はもう3年間と言わずとも、2年間でもう1回検討しますという形の対応も可能だと思えばいいのですか。
事務局	そうでございます。また経営戦略等に記載している取り組みについて、カーボンニュートラルプランなど、報告事項がありましたら、会長と相談をさせていただきまして、会を開くことも可能ということも含めて、記載させていただいています。
会長	<p>そうですね、経営戦略とかカーボンニュートラルとか別途並行して動いてる部分とのリンクがあるので検討する可能性も考えられるということですね。</p> <p>わかりました。その他いかがですか。よろしいですかね。</p> <p>続きまして、事務局より答申案3ページ「付帯意見」についてご説明をお願いします。</p>
事務局	～事務局説明～
会長	<p>ありがとうございます。ただ今の説明に関しまして、ご意見・ご質問等、また、この項目以外に何か加える必要があれば、ご意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。</p> <p>私の方から質問です。この徴収率の向上や接続勧奨というのはいいと思いますが、施設規模の最適化やカーボンニュートラルの取り組みなどというのは、先ほど言っていたような経営戦略やカーボンニュートラルの計画と絡んでくると思うんですけども、これは今どういう進捗状況なんでしょうか。現状ではこの3年間据え置くという話ですが、そこに付ける付帯意見として、逆に3年間のうちはこの計画が立つようなイメージですか。タイムスケジュール的にはどのぐらいのスピード感があるのでしょうか。多分この施設規模の最適化はなかなかすぐには終わらないと思うのですが、カーボンニュートラルをどのようにやっていこうというのは、今まさに検討されていて、もうすぐできるのか、それとも、もう2、3年もしくはもっとかかるのかというのは、どのような感じでしょうか？</p>
事務局	下水道企画課でございます。カーボンニュートラルプランの策定でござ

事務局	<p>いますが、現在業務を委託中ということで作業に取りかかっている状況ということですが、今年度末にはというところを目指してはおりますが、まずは方針の方を、しっかりとこれからコンサルとか他の自治体とかの状況も調べながら作り上げていくものでございますので、時期について今年度末には必ずというところは見えないところもありますが、今年度の策定を目指して作業中という状況でございます。</p>
会長	<p>はい、続けて素朴な疑問ですけど、施設規模の最適化をすると当然コストには良い影響が出るかなと思うんですけど、カーボンニュートラルが必ずしも下水道にとって、経費削減の方向に振れるかというのは物によっては微妙かという気もしますが、それはあくまで下水道としては、コスト縮減とカーボンニュートラルを両方実現できるような計画を目指すという理解でよろしいですか。ここに書くということはこれをやることによって、減らしてくださいという付帯意見になるとは思いますけど。</p>
事務局	<p>下水道企画課でございます。カーボンニュートラルは会長がおっしゃったような格好でイメージがなかなかつきにくいところがございますが、今のところ、下水道の処理工程の中で出てくるエネルギー、熱源だとかガスとか、そういったところの再エネ化とかもこちらの方に入ってくるといった格好になってくると思います。そうすると自ずとカーボンニュートラルが経営の方にも良い効果を上げてくるのではないかと考えているところでございます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。その他、ご質問いかがですか。</p>
委員	<p>私前回の会議のときに、これから人口も少なくなって1人当たりの負担が増えていくのではないかとということで、料金を上げてもいいというような意見をさせていただいたと思うんですけど、その中で確かに業務のデジタル化であったり、その辺の業務効率を進めていけば、まだまだできることもあるのではないかとというようなご意見もあったので、施設規模の最適化ということにも加えて業務の効率化とか、その辺の文言を入れてもいいのかと思います。</p>
会長	<p>そうですね、そういったご意見もあったと思います。確かにデジタル化というのは、時代の流れとしてはそういう方向だとは思いますが、事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>こちらにつきましても経営戦略の方にも記載ございますので、答申案の付帯意見の方にも加えさせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>そうですね、この並列で、施設規模の最適化、カーボンニュートラルの取り組みのところにもう1個加えるみたいな形であってもいいのかと思います。経営戦略の中でもそういう方向を目指されているということですよ。</p>

事務局	そうでございます。
会長	ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。もう1点、先ほどのお話にもありましたが、前回、今後人口が減っていく中で、料金改定をしてもいいのではないかという意見もあったのですが、例えばこの3年経った後に、今の見立てでいくと、おそらくは料金を上げざるを得ないような状況になるのではないかと思います。そういう状況が先にある中で、下水道事業はこういうことが必要で、こういうことをしている、それにはお金がかかるというか、必要なことはまだたくさんある中で、しっかり行っているというような、住民への周知というか、広報というか、そういった部分というのは、あってもいいと思ったのですけどいかがですか。そのあたりは皆さん何かご意見あればと思いますが。事務局はご意見ありますでしょうか。
事務局	前回、令和3年のときにも広報についてのご意見をいただいておりますので、この度またご意見いただいたということであれば、付帯意見のほうに記載させていただきたいと思います。
会長	単純に下水道はこんなに役に立つという話だけではなく、それも大事だと思いますけど、例えば耐震化というのが必要だとか、老朽化対策が必要だということもしっかりとアピールできれば、そこでいろんな努力をするというところまで含めて言えるような広報ができればと思いますけどいかがですか、皆さんからご意見があれば。
委員	皆さんのご意見に全面的に賛同するといいますか、いずれ下水道料金を上げざるを得ない状況になると思いますので、やはりいかに役に立っている下水道が裏で色々なコストをかけながら事業をやっているということは、しっかりと市民の方々にこの3年間ご理解いただいた上で、次の審議会を迎えているときは少し市民の方々の理解が進んでいる状態であれば、議論も変わってくるかなと思いますので、そういった形で広報中でもしっかりと市民の方々にアピールしていただければというふうに思います。
会長	はい、事務局いかがでしょうか。
事務局	ありがとうございます。下水道企画課でございます。経営戦略の方にも、耐震化であるとか、広報であるとかというところも取り組みをするように記載させていただいておりますので、広報についても先ほどご説明させていただいたとおり、この付帯意見の方に盛り込ませていただきたいと思います。具体的には、広報の下水道だよりだとか、これから作成する広報誌などございますので、そちらの方に生かしていきたいと考えております。
会長	はい、ありがとうございます。その他何か追加した方がいいというご意

会長	見があれば、よろしいですか。
委員	<p>例えば、今の下水道料金のことについてですけれども、今後どうしても上げなければならないのが実情だと思います。その中で、鳥取県内全体見ても下水道料金を上げていくような話もマスコミ等でも出ていましたけども、これは鳥取市は関係ないということではなくて、長い年月の中で、だんだんそういう傾向に近づいてくるのではないかというふうに思います。ですから広報で知らせることも大事ですけど、今こういうふうに行っているということだけではなくて、予想されるというか、どうしても上げていかなければならないということを何となく匂わせる必要があると思ったりしますし、現在鳥取市の水道料金も今のところ上げる予定は全然ないというような話を聞いていますが、これと同じようなことが出てくるとは思います、そういうところでやはり市民に周知するということが、聞いてなかったという形ではなく、そういうことを少しは感じ取れるような形のものがあるといいと、一般市民の立場から思います。実際、料金を上げるような形になるときにマスコミの方を呼ばれて周知をされるのではないかと思います、その予備段階として、匂わせるような内容が少しあった方がいいと感じております。</p>
会長	ありがとうございます。事務局いかがですか。
事務局	<p>はい、ご意見として伺ったところですが、また経営戦略の方にも、将来見込みということで、下水道料金については改定しない場合に経営が逼迫していきますというようなことをご紹介します。そういったところのPRをどうするかというのはまた広報の話かもしれませんが、現在の経営や計画の方を参照していただければと思っているところです。現段階でこちらの審議会でもまだ審議いただいていない下水道料金の改定というような具体的なことはまだ言うことはできないと思っておりますので、またその際には、審議会に必ず相談させていただきますので、そのときにご意見いただいて対応させていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>そうですね。一方で、もちろん非常にお金がかかる事業をやっていて必ず下水道料金が上がる可能性が高いということばかりだと耳が痛い話ですけど、一方で経営戦略であるとか、施設の統廃合とかでそれをいかになくそうとする努力も一方でやっているの、耳が痛い話ばかりだと何もやっていないという見え方になってしまう、ただ一方ではこういう努力を続けて、少しでも料金の改定幅を少なくできるように努力をしているという話もあるので、バランスを取りながら広報をうまくやっていたらいいという気がします。今おっしゃられたように、難しいところかもしれませんが。ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。</p>

<p>会長</p>	<p>では、今いただいた意見としては一つ目が、今後も引き続き接続勧奨、接続率の向上や、施設規模の最適化、カーボンニュートラルの取り組みなどのところでデジタル化も入れて、経費削減にも取り組んでいくというのを入らせていただくということと、二つ目に、住民への周知広報というところで、現在の状況であるとか、今後の取り組みなどをしっかりと住民にもアピールするという、付帯意見の3番目に住民への周知広報の項目を作るということで意見が出ました。そういった形でよろしいでしょうか、皆さん。</p> <p>ありがとうございます。その他ご意見ないようですので、先ほど皆さんからご意見いただきました通り、一部修正いたしまして、本審議会での答申書ということにさせていただきたいと思います。具体的に出来上がったものですが、こちらで確認して最終的な審議会の答申とさせていただきたいと思います。</p> <p>最終的な修正や追記部分の確認については、基本的には私にご一任いただくという形にさせていただければと思いますがよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>委員了解。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは以上で議事を終了しましたが、次第の(6)その他について何か事務局からありますでしょうか？</p>
<p>事務局</p>	<p>下水道企画課でございます。今後の予定についてご説明させていただきたいと思います。会長の方からお話があったように、会長と最終的な調整を行った後、委員の皆様へ最終の答申内容について郵送でご報告させていただきます。その後、会議を代表して戸荻会長から市長に対して答申をしていただきます。答申の受理式についてですが、スムーズに行かせていただければ、現時点で11月19日ぐらいにはと考えております。以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。それでは最後に、委員の皆様から何かご発言等あれば、言っておきたいことあれば、よろしいですか。</p> <p>それでは以上をもちまして第2回鳥取市下水道事業運営審議会を閉会いたします。委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。</p>

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

会 長

委 員

委 員